

## 第27回新生ふくしま復興推進本部会議

○日 時：平成26年9月8日（月）9：25～9：35

○場 所：特別室（本庁舎2階）

### 【内堀副知事】

ただ今から、新生ふくしま復興推進本部会議を開催いたします。

議題1「国の平成27年度予算概算要求について」、企画調整部長。

### 【企画調整部長】

それでは、国の平成27年度予算概算要求のうち、福島県に係るものについて、ご説明いたします。お手元の資料1をご覧ください。

まず、国の予算に向けては、6月11日の「復興加速に向けた提案・要望」以来、各省庁と折衝を行ってきました。8月9日の第9回福島復興再生協議会においては、知事から特に重要な10項目について、改めて政府に要請をしていただきました。それが、資料の1ページ目にまとめた、これまでのスケジュールとなっております。

2ページをお開きください。先ほど申しあげました重要な10項目についての現在の概算要求の概要でございます。1「避難者支援の充実」、4「風評払拭及び風化防止」、5「福島における再生可能エネルギーの飛躍的導入に向けた補助制度の継続・拡充など」、7「地域経済の復興に向けた支援」、8「イノベーション・コースト構想の着実な推進」、これらを知事から強く要請していただきましたが、概算要求の概要については、資料右側にあるとおり、本県の実情を踏まえ、しっかりと対応していただいていると認識しております。

3ページをお開きください。6月11日の知事要望38項目のうち、先ほどの10項目以外について、ピックアップしたものをこちらに記載しております。これから政府予算案に向けて、関係省庁間での予算折衝が本格化いたします。これらの項目を含めまして、本県の実情が確実に反映されるよう、引き続き取り組んでまいります。以上でございます。

### 【内堀副知事】

この件について、知事お願いします。

### 【知事】

先日、竹下復興大臣がお見えになったが、私から大臣に申し上げたのは、現場の状況をしっかりと掌握していただきたいということ、また、集中復興期間

についても話をした。大臣からは、体を張ってでも来年度の予算を取るとおっしゃっていただき、本当に心強いと思っている。来年は、復興に向かって極めて大事な年になるので、予算編成にあたっては、連携をしっかりと取りながら、財源の確保に全力であたってほしい。以上。

#### 【内堀副知事】

続きまして、議題2「復興対策推進PT中間取りまとめについて」、避難地域復興局長。

#### 【避難地域復興局長】

資料2をご覧ください。

今年の4月に、この本部会議にプロジェクトチームを設置しまして、「健康と安全・安心を守る」、「子どもを育む」の2つのテーマについて検討を重ねてまいりました。プロジェクトチーム会議を4回、ワーキンググループ会議を延べ18回開催しまして、庁内で議論を深めてきたところでございます。

「健康と安全・安心を守る」では、避難者の身体的・精神的疲労、震災関連死、そして新たな生活拠点への移行支援などの課題がございますので、相談員の人員増、関係機関とのネットワークの構築などにより、見守り・相談体制を強化するという大きな柱にしております。これまで、関係省庁との協議を進め、国の概算要求において、復興庁及び厚生労働省に必要な経費が計上されております。

次に、「子どもを育む」では、教育環境の充実、体力の低下等に対応する課題について議論を重ねてまいりました。この中で、中高一貫校の推進、先進的な教育やインターネットによる教育情報の提供、個別相談窓口の設置、切れ目のない体力向上施策の実施など、子どもの教育環境の充実について、検討を重ねてまいりました。この結果、文部科学省において、中高一貫校の設置事業、体力向上のプロジェクト等が概算要求に計上されたところでございます。これら概算要求に計上された事業につきましては、詳細について、施策の具体化をさらに図ってまいります。

また、中間取りまとめにご報告できていない課題も多くございますので、今後プロジェクトチーム会議を継続いたしまして、重点事業、更には平成27年度当初予算に反映できるよう、引き続き検討を進めてまいります。以上でございます。

#### 【内堀副知事】

それでは、この件について、知事をお願いします。

**【知事】**

今、避難地域復興局長から報告があったプロジェクトチームについて、「健康と安全・安心を守る」、そして「子どもを育む」、この2つの問題は、福島県の復興に極めて重要なものであるので、引き続きしっかり連携を取りながら進めてほしい。以上。

**【内堀副知事】**

次に、報告事項に入ります。

「業務の適切な執行について」、総務部長。

**【総務部長】**

資料3をご覧ください。

業務の適切な執行に向けた取組状況ですが、コンプライアンスの確立、チェック機能の確保、財務事務の適正化を徹底することとしております。

まず、コンプライアンスの徹底ですが、今年度新たに、「リスク管理チェックシート」を活用して、全庁的に、それぞれの職場においてリスクの洗い出しを行い、具体的な未然防止対策を講じることとしておりますので、よろしくお願いいたします。

また、チェック機能の確保等についても、副担当による一次チェックや管理監督者による複数チェックを従来から徹底しているところでございます。

そして、財務事務の適正化についてですが、重点事業及び重点事業以外の主要事業について、第1四半期までの執行状況の確認を行いました。概ね適正に事務を執行できたものと考えており、進捗状況についても、平均で約50%に達しているところでございます。その他の事業につきましても、平均で約70%の進捗率となっておりますので、各部局においても予定どおりに事業が進んでいるものと認識しております。引き続き、各部局自己点検の徹底を図るとともに、出納局とも一層の連携を図りながら、財務事務の適正化に努めてまいります。以上です。

**【内堀副知事】**

これについては、各部局の適切な執行をよろしくお願いいたします。

以上で、復興推進本部会議を閉じます。